



## 15 フィリピン 森林セクター プロジェクト

住民参加による森林保全を通じて  
貧困削減に貢献

承諾額／実行額	92億9,400万円 <sup>※</sup> ／57億6,100万円
借款契約調印	1993年8月
借款契約条件	金利3.0%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイド
貸付完了	2003年12月
実施機関	環境天然資源省 URL: <a href="http://www.denr.gov.ph/">http://www.denr.gov.ph/</a>

※2001年4月に借款契約が変更され、66億3,800万円に減額。



### 本事業の目的

フィリピン全土において、測量・図化・地域開発計画の策定、住民の組織化、植林関連事業等を実施することにより、森林面積の拡大と家計所得の向上を図り、地域の環境改善および貧困削減に寄与することを目的とする。

### 本事業実施による効果(有効性・インパクト) 評価 **b**

本事業実施による植林面積は、計画値8万haであったのに対し、実績は約6.96万ha(計画比87%)、3年後の生存率は計画値70%であったのに対し、実績は水源涵養林84%、マングローブ86%と、いずれも当初計画を上回ったことが確認された。受益者調査(水源涵養林サブプロジェクト(4カ所)実施地域住民80名対象)では、農業所得、農業関連所得の合計は、事業実施前と比べ増加した(0.89万~1.67万ペソ/年程度増加)との意見が寄せられており、これはアグロフォレストリー<sup>※</sup>や生計向上プログラム実施の効果であると考えられる。サブプロジェクト実施地域によって住民所得に差がみられるが、所得が高い地域では、住民組織への参加率が70%を超え、生計向上プログラムからの収益を上げ、またその収益で、植林の維持管理作業を行うことが可能になっているという特徴がみられた。よって、本事業の実施により一定の効果発現がみられ、有効性は中程度である。

※多種多様な樹木を育成し、そこでさまざまな作物の栽培や畜産を営むことにより収益を確保しようとする複合経営のこと。



河川に植栽され洪水防御や土壌浸食防止の機能を果たしている竹

### 本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) 評価 **a**

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画等と合致しており、事業実施の妥当性は極めて高い。本事業は、中期開発計画(1993-98年)および森林開発マスタープランのもとで計画されたもので、事後評価時点でも、森林保全・再生は重視されている。

### 事業実施の経済性(効率性) 評価 **b**

本事業は、事業費については計画を下回ったものの(計画比55%)、期間が計画を大幅に上回ったため(計画比228%程度)、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延の主な要因は、コンサルタント選定に時間を要したこと、1997-99年の自然災害により作業が行えない期間があったことが挙げられる。

### 今後の展望(持続性) 評価 **a**

本事業は実施機関の能力および維持管理体制ともに問題なく、高い持続性が見込まれる。サブプロジェクトの維持管理については、住民組織が引き続き行い、実施機関の現地事務所がその活動を支援するという体制になっている。

### 結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は概ね高いといえる。教訓としては、植林事業には生計向上プログラムを明確に導入すること、NGOとの協働にあたっては対象となるNGOの強みをふまえることが挙げられる。

#### 開発途上国専門家の意見

本事業は環境改善や地域経済の活性化に貢献したと評価される。法整備、ステークホルダーの参加、生計向上プログラム支援が事業の持続性を高めるうえで重要なものであったと考えられる。

専門家の氏名： Mr. Federico M. Macaranas (研究機関)  
ブルドゥ大学博士(経済)。現在、AIM政策センター理事。専門は経済学、国際経済。